

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	商法ⅠB（Commercial LawⅠB）		
ナンバリングコード	E30502	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／応用レベル 法律学
単位数	2	配当学年／開講期	3年／後期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E025751	クラス名	-
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、 履修条件	履修条件はありません。		
教科書	小柿徳武, 伊藤吉洋, 原弘明, 島田志帆『基礎から学ぶ商法』		
参考文献及び指定図書	近藤光男『現代商法入門〔第11版〕（有斐閣アルマ）』（有斐閣） 大塚英明・川島いづみ・中東正文・石川真衣『商法総則・商行為法〔第4版〕（有斐閣アルマ）』（有斐閣）		
関連科目	民法ⅠA、民法ⅠB、商法ⅠA、その他の法律系科目		

○基本情報		
授業の目的	本講義は商法総則・商行為法について学ぶ科目です。 商法は、商人の営業、商行為その他商事に関する法律であり、ビジネスに深く関わる法分野全体に共通する概念やルールを定めています。本講義はこれらの概念やルールについて学び、その知識を用いて商人どうしでの法律関係を理解できるようになることを目指します。 また商法は民法の特別法として位置付けられています。民法科目で学んだ理解をよりビジネスの実践に即した形で発展させることを目指します。	
授業の概要	本講義は、商法第一編総則、会社法第一編総則、商法第二編商行為に当たる部分を取り扱います。 商取引に関わる法律関係を規律する商法の総則、典型的な商行為について規律する商行為法について概観します。 商法には、例えば代理や留置権などについて民法とは異なるルールが定められています。本講義では折に触れて民法との比較をしながら授業を進めます。 毎回テーマに合わせたレジュメを配布し、講義はレジュメと教科書を併用して進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会における商法総則・商行為法の重要性を理解し、商法に関する時事や問題に関心を持つようになること		15点	
【知識・理解】	商法総則・商行為法の基本的な考え方や全体像、商法総則・商行為法の規定や制度(など)について理解すること	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	商法総則・商行為法における専門的な用語や言い回しについて他者に正確に説明できるようになること	25点		
【思考・判断・創造】	具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること	25点		
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
期末試験は70点満点(空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題)。 提出物には①コメントシート(15点満点)と②授業内容理解を確認する必修課題(15点満点)があります。 コメントや課題へのフィードバックは、次回以降の授業にて行います。 定期試験の要点と解説についてはGoogle Classroomに掲載します。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	商法 I B (Commercial Law I B) 大西 貴之	授業コード	E025751
学修内容				
1. 商法総則・商行為法とは？ ガイダンス、受講にあたって、民法との関係、商法の特色、商法と会社法の関係				
予習 指定された教科書のなかで興味のある部分を読んでおくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
2. 商人と営業 商行為とは、「商人」とは誰のこと？、二種類の「営業」概念				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
3. 商号 商号とは、商号をめぐる諸原則、商号権、名板貸とは				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
4. 商業登記 商業登記の公示機能、商業登記の効力、商業登記と外観信頼法理の関係				
予習 指定された教科書のなかで興味のある部分を読んでおくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメには内容確認のための問題を付しているので、復習に利用すること (約2.0h)				
5. 商業使用人 企業取引の補助者、支配人、表見支配人、その他の商業使用人				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
6. 営業譲渡・商業帳簿 営業譲渡契約の締結と効果、商業帳簿				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
7. 代理商 代理商の意義、商人を補助するほかの制度との対比、代理商の権利と義務				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
8. 商行為法総則(1) 特別ルールとしての商法、報酬請求権、商行為の代理と委任、諾否通知義務、物品保管義務				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				

○授業計画	科 目 名 担当教員	商法 I B (Commercial Law I B) 大西 貴之	授業コード	E025751
学修内容				
9. 商行為法総則(2) 特別ルールとしての商法(続)、多数債務者間の連帯、保証人の連帯、質物の処分、商人間留置権				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
10. 商事売買 商人どうしの売買の特別ルール、目的物の供託・競売、定期売買、目的物の検査・通知義務				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
11. 仲立営業・問屋営業 仲立営業の例、仲立人の意義、仲立人の権利義務、問屋の意義、問屋の権利義務				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
12. 運送営業 運送営業とは、物品運送、運送人の義務と権利、荷受人、旅客運送				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
13. 倉庫営業・場屋営業 他人から物を預かって保管する契約、寄託の種類、倉庫営業者の場合のルール、寄託を受けた物品に対する場屋営業者の責任				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
14. 交互計算・匿名組合 特殊の決済手段、民法上の「相殺」と相殺契約、匿名組合と民法上の「組合」、匿名組合員の権利・義務				
予習 各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
15. まとめ ふりかえり、民法と商法のつながり、私法のさらなる広がり				
予習 これまでの講義14回分の内容確認の問題に改めて取り組んでおくこと (約2.0h)				
復習 各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと (約2.0h)				
16. 期末試験 空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題				
予習 15回までに配布した資料、レジュメ等をまとめて振り返ること (約2.0h)				
復習 試験の要点と解説を確認して、これまでの内容理解を定着させること (約2.0h)				